

児童発達支援放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日 R7 年 2 月 8 日

公表 R7 年 3 月 15 日

事業所名 リバティキッズ ブーケ

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				
	2	職員の配置数は適切である	6				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	1		・現状は大丈夫だと思いますが、視力が悪い子が来た場合などは小さな段差がネックになると思います。	・発達障害児への合理的配慮として、視覚支援や構造化など環境面を工夫している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6				・行っているが、スタッフ全体が共通理解のもと振り返れているかは個人差がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2			・第三者機関では行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・支援者が毎日変わりそれぞれが個々の支援計画にそった活動を実施できている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				・土曜日は個別プログラムとなっている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		・当月ではないが振り返りや反省などを共有している。必要であれば当月行っている。 ・支援終了後は送迎があるため当日の振り返りはできない。翌日に行うことが多い。 ・次の日にしている。	・直帰の職員などがあるため、翌日に振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管だけでなく、日頃から関わりの多い職員も出席している。 ・申し出れば会議に出席できるようになっている。 	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在はケアが必要な児童がいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・対象児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者を通して、支援センターの事などを聞いて支援に反映させている。 	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	2		<ul style="list-style-type: none"> ・公園やおでかけ先などで、一緒に遊んだり交流している。 ・近くの公園で一緒に遊ぶことがある。 ・児童館へ行ったり地域の公園で一緒に遊んでいる。 	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5	1	<ul style="list-style-type: none"> ・参加していないと思います。 ・どちらともいえない。 	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時お迎え時に行っている。 	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6					
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	5		<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会などはないが子ども同士が遊びたいと言った際には事業所が間に入り連絡先の交換など行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種感染症の観点から開催を控えていました。再開を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			<ul style="list-style-type: none"> ・会報等はないが長期休み前などの際は事前に活動内容や行事予定を知らせている。 	
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5			<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民は招待する機会はない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			・防犯マニュアルはないかもせいれません。	・周知をしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				・利用曜日の関係で全児童には行えていない。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				・年に2回は必ず、権利擁護について研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				・必要な場合には同意書にて説明後に合意をもらっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			・保護者からの服薬依頼書にもとずいて行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			・話しあうようにしています。	